

最近のスリランカ情勢と日ス関係

スリランカ概要 1

スリランカ政治・経済情勢 2

最近の日スリランカ関係 3

2017年7月
外務省南西アジア課

スリランカ民主社会主義共和国

●近年高成長を維持, 2015年1月の大統領選で政権交代

...紛争直後は7%以上の成長率。観光客も増加。
昨年1月の大統領選でシリセーナ新大統領誕生。

●09年に紛争終了, 復興, 国民和解が課題

...治安は安定。北・東部の復興, 紛争後の民族間の和解が課題。

●地政学的な重要性

...アジアと中東・アフリカの中間に位置するシーレーン上の戦略的要衝。

●伝統的な親日国

...長年の主要援助国。多くの国際場で支持。
2014年9月, 総理の24年ぶりの訪問。

* 人口: 2, 120万人(2016年)

* 面積: 65, 610km²

・九州+四国

* 多民族・多宗教国家

・シンハラ人: 73% タミル人: 18% ムーア人: 8%
・仏教: 70% ヒンドゥー教: 10% キリスト教: 11%
イスラム教: 8%

* GDP成長率: 4. 4%(2016年)

・2015年(4. 8%) 2014年(4. 9%), 2013年(3. 4%)

* 一人当たりのGDP: 3, 835米ドル(2016年: 中銀)

* 名目GDP 813億米ドル(2016年: 中銀)

* 政治体制...共和制

・元首: マイトリーパーラ・シリセーナ大統領
・政府: 48大臣(国务大臣20名, 副大臣25名)
・国会: 一院制(225議席)

* 産業...縫製業, 農業(紅茶, ゴム, ココナッツ, 米作)

* 外交...非同盟中立, インドとの関係を重視

* 在留邦人...738名(2016年10月)

* 観光客数も増加

・2015年(18%増, 179万人), 2016年(14%増, 205万人)
※初めて200万人を突破

* 進出日系企業数...75社(商工会加入63社)(2016年10月)



スリジャヤワルダナプラコッテ



スリランカ政治・経済情勢

大統領選挙



シリセーナ大統領



ラージャパクサ前大統領

選挙結果(選挙管理委員会発表)

有権者数: 15,044,490人。

投票率: 81.5%(大統領選挙としては過去最高)。

● **マイトリーパーラ・シリセーナ野党統一候補**
6,217,162票 (51.28%)

● **マヒンダ・ラージャパクサ大統領**
5,768,090票 (47.58%)

スリランカ内戦後の政治動向

- ・2009年 5月 LTTEとの内戦終結
- ・2009年 11月 大統領選挙の繰り上げ実施発表
- ・2010年 1月 大統領選挙実施・ラージャパクサ大統領が再選
- ・2010年 4月 総選挙実施・与党連合が大勝/省庁再編
- ・2010年 11月 ラージャパクサ大統領・第二期政権開始
- ・2014年 11月 大統領選挙の繰り上げ実施発表
- ・2015年 1月 大統領選挙実施・シリセーナ野党統一候補が勝利
- ・2015年 8月 総選挙実施・UNPが大勝し、SLFPと大連立形成

- 2015年1月8日、三選を目指し任期を前倒して選挙実施を宣言したラージャパクサ大統領と現職の権力集中を批判し政権を離脱したシリセーナ野党統一候補(元与党幹事長、保健相)との一騎打ちの大統領選挙が平和裏に実施された。
- 1月9日、選挙結果が発表され、シリセーナ候補が51.28%を獲得して当選し、同日新大統領に就任(任期2020年まで)。

スリランカ内政

- シリセーナ政権は、統一国民党(UNP)党首のウィクラマシンハ氏を首相に指名し、UNP中心の内閣を組閣。
- シリセーナ大統領は、100日以内に「憲法改正」(大統領権限縮小)や汚職追及等の改革を実現し、国会を解散し、総選挙で安定政権の樹立を目指す旨表明(2015年6月26日、シリセーナ大統領は国会を解散)。
- 2015年8月17日、総選挙実施。UNPが第1党となり、第2党のスリランカ自由党(SLFP)らと大連立を形成。ウィクラマシンハ首相が再任され、第二次シリセーナ政権が発足。
- 2009年5月に26年に及ぶ内戦が終結して以降、治安は安定。紛争後の復興、国民和解の実現が課題。



ウィクラマシンハ首相

スリランカ外交

- 基本的に非同盟中立。シリセーナ政権は、過度の中国依存を見直し、日印中等との均衡の取れた関係構築を目指す。
- シリセーナ政権は、紛争終結前後から人権問題を巡り悪化した欧米諸国との関係改善も希望。

スリランカ経済

- 紛争終結後、高い経済成長を維持。地政学的重要性、インド市場へのアクセスも踏まえ更なる経済成長の潜在性。(15年の成長率4.8%(14年4.9%)、外国人観光客は14%増(初めて200万人突破)、16年のインフレ率3.9%)



最近の日スリランカ関係



日スリランカ関係の流れ

- 1952年サンフランシスコ平和条約発効を機に国交樹立。2012年国交樹立60周年。
- 最近の要人往来:2014年9月安倍総理(総理訪問は24年ぶり), 2015年3月城内外務副大臣, 10月ウィクラマシンハ首相訪日, 2016年5月シリセーナ大統領, 2017年4月ウィクラマシンハ首相



サンフランシスコ平和会議(1951年)で、「憎悪は憎悪によって止むことなく、愛によって止む」という仏陀の言葉を引用し、賠償請求権を放棄し、日本を国際社会の一員として受け入れるよう訴えた故ジャヤワルダナ大統領(当時財務相)

経済・経済協力

- 北・東部の紛争後の復旧・復興を始め, 地域・民族バランスを考慮した支援を実施
 - 1986年から2008年まで, 日本は継続して二国間では最大の援助供与国。
 - 2016年10月, 円借款2件(約331億円), 2017年4月, 円借款2件(約448億円)の交換公文署名。
 - 2011年11月我が国等の支援で建設されたスリランカ初の高速道路開通。
- 日本・スリランカ間の貿易額は約1,022.3億円(2016年)
 - スリランカ進出日系企業数は2016年10月時点で75社(商工会加入63社)。
 - 日系企業の問題解決のため2009年以來の官民合同フォーラムの開催。

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2013年	350.20	25.42	13.38
2014年	137.17	13.39	21.66
2015年	703.58	17.05	21.12
累計	10,357.04	2,093.87	774.56

(交換公文ベース, JICA経費実績ベース)(単位:億円)

	主な相手国	日本の「ス」輸出入額
輸出	米, 英, 印, 独, 伊	760.2億円 自動車, 一般機械, 電気機器等
輸入	印, 中, 日, UAE, シンガポール	262.1億円 紅茶, 衣類, 魚介類等

(2014年財務省貿易統計)

和平プロセスへの関与

- 2002年, 明石康元国連事務次長をスリランカの平和構築並びに復旧及び復興に関する日本政府代表に任命し, スリランカ和平に積極的に関与しており, 2009年5月の内戦終結後もスリランカの平和構築を後押し。2015年10月, 2016年1月, 野口元郎最高検察庁検事を現地派遣(2度)。



(明石康政府代表)



(野口元郎検事)

海洋分野での協力

- 2011年4月に16年ぶりの海上自衛隊艦船(ソマリア沖海賊対処)の寄港が実現して以来, 現在まで計31回寄港。
- スリランカ沿岸警備庁への専門家の派遣, 研修の実施。また巡視艇2隻の供与を決定。

国際場裡

- 多くの国際機関選挙・決議等で我が国を支持(我が国の安保理常任理事国入りも支持)